

医療の質・安全学会 第2回『学際的医療研究のための入門講座:家庭と医療』ご案内

主催：医療の質・安全学会・学際共同研究推進 WG

共催：テルモ株式会社

世界規模で医療の質・安全の保障が急務とされる中、実際に医療の安全を保ち、質を向上させていくために、医療関係者の努力ばかりでなく、他領域の研究者・実践者が医療現場に入って活動をしていくことが期待されています。しかし、残念なことに、とりわけ日本においてはそうした「医療以外の分野から、人が医療の現場に入っていくこと」の経験が浅く、「入っていきたいのに入っていけない」医療外領域の人と「入ってきてほしいのに、入ってきてくれる人が見つからない」医療領域がいるという膠着状態があるように思われます。そこで医療の質・安全学会では、医療にかかわる学際的共同研究を支援・推進していくワーキンググループを創設し、2007年度よりその活動の一つとして、これから医療研究に踏み出していきたい非医療系研究者に対する「入門講座」を行っています。

医療に興味がある、しかし様子がわからないので入っていけない、あるいは入っていくことに不安があると感じている周辺領域の若手／中堅研究者を対象として、そもそも医療とはどのような活動であり、どのような現場であるのかを、医療各領域の第一人者に語っていただき、さらに相互の議論の中で学際研究の可能性とあり方を検討していく場にしていきたいと考えています。

第2回目の2008年度入門講座は、「家庭と医療」に照準を合わせて、なぜ今、医療と家庭とのかかわりを考える必要があるのか、そこから特に非医療系の研究者に期待されている「追究・解決すべき問題は何か」を共に考えていきたいと思えます。その一環として、テルモ(株)の研修施設プラネックス内の模擬同居で模擬患者による課題提起を行い、グループ討議・その発表を通じての全体討論も行っていく予定です。

医療現場と他領域の研究者をつなぐ第一歩としての入門講座に、ぜひご参加ください。

記

日時： 2008年9月11日(木)10時～12日(金)17時(合宿形式)

場所： テルモ(株)プラネックス <http://www.terumo.co.jp/company/development/pranex.html>

宿泊： はだの・湯河原温泉 万葉の湯 <http://www.manyo.co.jp/hadano/>(予定)

テーマと講師:(敬称略)

- ・医療制度からみた在宅と医療の問題：高木安雄(慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科)
- ・地域医療とは何か：北澤彰浩(佐久総合病院地域ケア科)
- ・プライマリケアの立場から：白浜雅司(佐賀市立三瀬診療所)
- ・訪問看護の立場から：清水準一(首都大学東京)
- ・在宅医療機器と患者・家族・生活：(テルモ)

対象：医療研究に興味を持つ社会科学系(社会学・心理学・認知科学ほか)ならびに工学系(人工知能、人間工学ほか)の若手研究者30名程度。

- ・医療の質安全学会および各学会に対して公募し、希望者が多いときには、書類選考を行います。

- ・ 原則として、全日程に参加できる方を優先いたします。

参加費(合宿形式):

9月11日昼食～9月12日昼食の1泊4食を含みます。

宿泊は「はだの・湯河原温泉 万葉の湯」の洋室シングル(予定)です。

学生(大学院生) 8,000円

任期付き/非常勤有職者 10,000円

テニユア付き*有職者 15,000円

*「テニユアとは「定年までの長期雇用」を指します

- 現地までの交通費は各自のご負担をお願いします。
- この参加費は、宿泊代・食費など「実費の一部」をご負担いただくものです。その他の経費は主催・共催で負担しており、収益事業ではないことをご理解ください。

スケジュール(予定): (敬称略)

1日目 9月11日(木)

1000-1010 趣旨説明

1010-1210 地域医療とは何か: 北澤彰浩 (佐久総合病院地域ケア科)

1210-1300 昼食 [⇒ 昼食時にグループ分け連絡]

1300-1500 訪問看護の立場から: 清水準一 (首都大学東京)

1515-1715 医療制度からみた在宅と医療の問題: 高木安雄 (慶應義塾大学)

1730-1930 在宅医療機器と患者・家族・生活: 模擬患者による課題提案を含む (テルモ)

1930-2130 懇親会(夕食)

2日目 9月12日(金)

930-1130 プライマリケアの立場から: 白浜雅司 (佐賀市立三瀬診療所)

1230-1400 WS-分科会

1430-1700 分科会報告と全体討論

1700-1710 closing remark

応募方法

以下の情報を記載した応募文書(別途応募ファイル参照)をEメールで送付してください。

1. 所属・連絡先

- ・ 氏名(和・英文), 年齢, 性別
- ・ 所属・身分(指導教員がいる場合は指導教員名までお願いします)
- ・ 所属学会名, 参加枠組
- ・ 連絡先(e-mail, 住所, TEL/FAX, 緊急連絡のための携帯電話・携帯メール)

※別紙の個人情報の取り扱いについてごらんいただき, ご同意の上, ご提出ください。

2. 応募動機と医療研究に対する興味

- ・ 今回の入門講座に応募した理由, ならびに, 今現在, 興味を持っている医療の質・安全に関連する研究テーマについて, 3行200字程度にまとめてください。この自己紹介文は全参加者に配布する参加者一覧に掲載させていただきます。

・各専門領域について、これまでどのような研究目的をもって研究を進めてきたか、どのような成果を上げてきたか、またこの入門講座への参加の目的や興味を持っている医療関係の研究テーマについて、1000字程度に簡単に記述してください。具体的な研究業績のある方は、併せて最近5年間の主たる業績を3～5点挙げてください。

※書類審査となった場合にも、「医療研究に関する」事前知識の量や業績の量は問いません。医療研究に対する興味と各専門領域におけるこれまでのご研究を審査の対象とします。

応募先： collab@qsh.jp

e-mailのSubject(用件)欄に『QSH 入門講座申込』と入れてください。またメール配送トラブルを防ぐため、必ずご自分でも送信記録を取ってお送りください。メールを受け取り次第、受領メールを出しますので(最大で2日程度遅延する場合があります)、3日たっても受領メールが届かない場合は、再度ご連絡をください。

応募締切：2008年8月1日(金)午後4時